

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2002-19069(P2002-19069A)

【公開日】平成14年1月22日(2002.1.22)

【出願番号】特願2001-168926(P2001-168926)

【国際特許分類】

B 41 F 7/30 (2006.01)

【F I】

B 41 F 7/30

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】印刷機の分配ローラを湿らすのに使用される湿し器であって、該分配ローラに隣接する中空の多孔ローラと、湿し用溶液源と、該湿し用溶液源を通るようにして多孔ローラを回転させる回転手段と、湿し用溶液を該多孔ローラから該分配ローラ上へ吹き飛ばすための空気源と、該多孔ローラの一つの端部に設置されたカムと、該カムと係合するばね付勢プランジャと、該多孔ローラの反対側の端部に配置されたばねとを有し、

該ばねは、該ばね付勢プランジャの方向に該多孔ローラを押圧し、それにより、該多孔ローラが回転すると該多孔ローラを空気源に対して横方向に振動させる、湿し器。

【請求項2】前記多孔ローラが、50%超の孔面積を有している請求項1の湿し器。

【請求項3】前記回転手段が、前記分配ローラに与えられる湿し用溶液の量を変化させるべく、可変速度モータによって駆動される請求項1の湿し器。

【請求項4】前記空気源は軸方向チューブを含み、該軸方向チューブ上に前記多孔ローラが装着されている請求項1の湿し器。

【請求項5】前記空気源が、前記軸方向チューブ上に偏心した状態で装着されている円筒状の空気チューブを備えている請求項4の湿し器。

【請求項6】前記軸方向チューブが、前記円筒状の空気チューブ内において、空気孔を設けられている請求項5の湿し器。

【請求項7】前記円筒状の空気チューブは、前記多孔ローラに近接した位置に、該円筒状の空気チューブの長さに渡る1列の空気孔が設けられている請求項5の湿し器。

【請求項8】前記円筒状の空気チューブは、前記多孔ローラに近接した位置に、該円筒状の空気チューブの長さに渡る1列の空気孔が設けられている請求項6の湿し器。

【請求項9】印刷機において使用される湿し器であって、多孔ローラと、湿し用溶液源と、湿し用溶液を該多孔ローラに導く手段と、該多孔ローラを回転させる回転手段と、該多孔ローラの一つの端部に設置されたカムと、該カムと係合するばね付勢プランジャと、該多孔ローラの反対側の端部に配置されたばねとを有し、

該ばねは、該ばね付勢プランジャの方向に該多孔ローラを押圧し、それにより、該多孔ローラが回転すると、該多孔ローラを空気源に対して横方向に振動させる、湿し器。